

2022.1.9 「春種」

風に立つ

松本喜久夫 著

大学を卒業した小宮純一が大阪市市の小学校教員に採用され、教師人生と共に教職員組合活動に取り



組んでいく姿を描く長編小説。教師3年目、学校は部落問題をめぐり部落解放同盟と紛糾。同僚が差別文書に関わったと

され処分されますが、果たしてその処分が本当に適正なのか、差別とはいったい何なのか、純一は疑問を抱きます。その後も政党からの労働組合の独立、「大阪維新の会」の政治などをめぐって揺れ動いた38年の教師生活を描きます。

(本の泉社・1600円)